

みんなで考えたい

市町村合併

⑧

倉吉市、三朝町、関金町、北条町、大栄町の1市4町からなる「天神川流域合併協議会」が10月1日に設置されました。その他、県内、または会見町で合併に向けてどのような動きがあったでしょうか。

〈県内の動き〉

10月1日現在

現在、鳥取県内では、2つの協議会が設置されています。

① 「東郷湖周辺地域合併協議会」

○平成13年10月1日

羽合町・泊村・東郷町の3町で設置

○平成13年10月10日

県は、合併重点支援地域に指定

○協議会は11回開催され、合併の期日（平成16年10月）、合併の方式（対等合併）、新町まちづくり構想等を了承。現在、新町の名称、庁舎の市、議員定数、新町まちづくり計画（新町建設計画）について協議会のもとに設置した小委員会で検討中。

① 「天神川流域合併協議会」

○平成14年10月1日

倉吉市、三朝町、関金町、北条町、大栄町の1市4町で設置

○平成14年10月1日

県は、合併重点支援地域に指定

〈会見町の動き〉

女性の声を聞く

10月2日（水）

町内の女性団体「夢つくる女性の会」（代表 岡田洋子さん 市山）と町長との懇談会が開かれました。



▲懇談会の様子

この度、当団体から合併問題についての懇談会を求められた背景には、町が4月から8月にかけて実施してきた各部落での合併問題説明会への女性の参加者が全参加者の4分の1程度しかなかったことがあげられます。

参加された方からは、合併に対する周辺市町村の動向や、大きな合併がよいのか、小さい合併がよいのか、具体的な例を上げて答えて欲しいなどの質問があり、町長や総務課長がその都度詳しく答えました。参加者の大半は、現状のサービスが低下しないよう比較的小規模な合併を望んでいるようでした。

会見町の将来像と市町村合併問題を語る会

議員と町民との市町村合併について語る会が10月5日（土）～10月20日（日）に町内6部落で開催されました。

合併特例法が適用される期限（平成17年3月）内の合併に向けて、県内、周辺市町村でもそれぞれ動きが見えてきました。会見町の意向も表明していかなければなりません。

合併問題は今後の町づくりの方向性を大きく左右する問題です。これからも出来る限り町民の皆様の疑問に答えていく機会を設けていきますので、皆様の積極的な参加をよろしく願います。

ふるさととの未来を。